

**札幌商工会議所**

本件担当：総合企画部 企画課 野原

TEL：011-231-1360

E-mail：kikaku@sapporo-cci.or.jp

札幌商工会議所 中長期戦略 「ビジョン2035」の策定について

札幌商工会議所 政策委員会（委員長 古野 重幸）は、札幌が目指すべき将来像や都市政策、産業経済政策について経済界の立場から検討し、10年後の「ありたい社会」を実現すべく、中長期戦略「ビジョン2035」を策定しました。

つきましては、本件について取材・報道いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

記

【ビジョン2035 策定の目的】

今日、札幌の経済状況は、働き手の不足や、冬季オリパラ招致中止に象徴される都市の活力低下といった課題が深刻化する一方で、ラピダス進出やGX金融特区指定など、新たな追い風も生まれています。

こうした変化を踏まえ、2015年に“札幌版の地方創生戦略”として当所が策定した「さっぽろ成長戦略」に代わる新たな中長期ビジョンとして、今後10年を見据えた「ビジョン2035」を策定しました。

本ビジョンは、「さっぽろ成長戦略」で掲げた「都市インフラ」「産業政策」「人づくり」「生活・文化」の4つの視点を継承しつつ、札幌の付加価値を創出する具体的な取組を設定したもので、コンセプトは「付加価値創出・さっぽろ引力2.0」を掲げています。3つの「ありたい社会」と27の「必要な取り組み」を設定し、今後の当所の活動指針といたします。

これらの取り組みを通じて、札幌の付加価値を高め、中小企業がイキイキと活躍し、活力溢れるまちの実現を目指します。

【今後の展開】

今後は、札幌商工会議所第39期（2025年11月～）以降の活動において、ビジョンに掲げた課題と施策の具体化を進めてまいります。また、札幌市と意見交換をはじめとし、地域社会や若者等多様なステークホルダーと連携をしながら、札幌の活力向上に向けた取組を実施してまいります。

以上

「ビジョン2035」
全文はこちら→



■「ビジョン 2035」の目指す姿

さっぽろ成長戦略

目標年次=2025年

人口： + 1 万人（2015 年度対比）

全ての年代別で流入超過を実現

雇用： + 6 万人

若年層、女性、高齢者を中心に就業者数を増加

市内総生産： + 1. 6 兆円

Sapporo 引力。

あたらし引力、たのし引力、ひと引力。

= 目指すべき姿 =

道都に相応しい街の魅力向上

地域資源の付加価値向上による雇用創出

北海道の域際収支改善への貢献

教育環境の充実

人材の定着・環流促進

女性の活躍促進に資する子育て環境整備

スポーツ振興と健康増進

新たな文化、賑わいの創出

2015 年策定の
「さっぽろ成長戦略」から
バージョンアップ

ビジョン 2035

付加価値創出・さっぽろ引力 2.0

目標年次=2035年

※付加価値創出・さっぽろ引力とは・・・

まち・ひと・しごと・くらしの付加価値を向上させることで、
札幌の魅力を向上させ、ヒト・モノ・カネを札幌に引き寄せる。

中小企業がイキイキと活躍することで
活力が生まれる街を目指す

= ありたい社会 =

- 多様な人々が共生する真の国際都市「札幌」
- 企業のイノベーションが活発に生まれる「札幌」
- 安心して快適な、住みたい・訪れたい「札幌」

■ 実現に必要な取組

ひと	しごと
・ 学生の道外流出低減と人材還流促進 ・ 地元愛醸成に向けた若者のチャレンジ支援 ・ 真の女性活躍に向けた取組の推進 ・ エッセンシャルワーカーの確保 ・ 高度外国人材の獲得	・ 企業の付加価値労働生産性および稼ぐ力の向上 ・ AI 活用、D Xの普及促進 ・ 道外および海外市場への進出支援 ・ 産学連携の促進 ・ スタートアップ創出とオープンイノベーションの推進 ・ 新たな観光資源の発掘、発信 ・ 道内企業間のコラボレーションの促進 ・ GX・半導体関連産業とのビジネスチャンス創出
まち	くらし
・ まち全体のデジタルインフラの整備 ・ 世界をリードするバリアフリー環境整備 ・ 環境先進都市の形成 ・ MICE 施設の拡充 ・ MaaSの実装 ・ 国内外企業や政府機関の誘致 ・ 交通円滑化に向けた利雪・克雪 ・ 防災・減災対策 ・ 地上と地下との連携を実感できるまちづくり	・ 外国人もストレスなく暮らせる環境づくり ・ 「道都札幌」にふさわしい魅力溢れる文化芸術都市づくり ・ スポーツ・エンタメ・クリエイティブ産業の活性化 ・ まちの美観向上 ・ 健康寿命の延伸と産業化

■ 実現に向けた今後の取組の方向性

■ 今後、「必要な取り組み」は第 39 期以降の活動において具現化し実行。



■ 「ビジョン 2035」周知

会員企業へ周知するばかりでなく、広く若者などに理解・実践を促す機会を提供するほか、札幌市との意見交換などを通じてビジョン実現を目指す。

■ビジョン 2035 検討小委員会 委員名簿

- 昨年度より、当所政策委員会内に小委員会を設けビジョン策定に向け検討。
メンバーは以下のとおり。

(順不同・敬称略)

※役職は令和7年3月31日現在

座 長	古野 重幸	政策委員長	フルテック(株) 代表取締役会長CEO
委 員	池田 光司	総務委員長	池田食品(株) 代表取締役会長
〃	吉本 淳一	中小企業委員長	北海道信用金庫 理事・特別顧問
〃	武藤 修	人材確保・活用委員長	マルスイホールディングス(株) 代表取締役社長
〃	渡邊 克仁	都市・交通委員長	北都交通(株) 代表取締役
〃	佐々木康行	SDGs推進特別委員長	北海道コカ・コーラボトリング(株) 代表取締役会長
〃	里見 英樹	情報部会長	(株)メディア・マジック 代表取締役
〃	白濱 光人	観光部会長	(株)さっぽろテレビ塔 代表取締役社長
〃	水戸 康智	健康・文化部会長	(株)萌福祉サービス 代表取締役
〃	笹原 晶博	政策委員会 委員	(株)北海道銀行 取締役会長
〃	犬嶋ユカリ	女性会会長	(株)井上技研 取締役副社長
〃	後藤栄二郎	青年部会長	丸美珈琲(有) 代表取締役
学識者	佐藤 郁夫		北海道武蔵女子大学 教授
〃	岡本 浩一		北海学園大学 教授
〃	武者 加苗		札幌大学 教授